

## トピックス

### 「三重県レッドデータブック2005」 を発行しました

人間の活動など近年の自然をとりまく環境の変化により、多くの野生動植物が減少あるいは絶滅の危機に追いやられています。

野生生物はすべてが生態系の構成要員であり、人間もその一員です。次世代に生物の多様性を引き継ぐために、野生生物の適切な保全を進めていく必要があります。

三重県では、平成17年度に県内の野生動植物の減少度合いを明らかにして、それぞれの生き物の概要や保護策などを説明した「三重県レッドデータブック2005」を作成しました。

平成15年度から県内を中心とする約100名の専門家の方々に生物多様性調査検討委員会の委員として調査、執筆にあたっていただき、1,483種の守るべき野生動植物を明らかにすることができました。

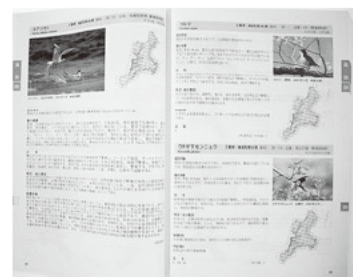
レッドデータブックの刊行を、三重県における生物多様性確保の新たな出発点として、平成18年度からは、レッドデータブックを活用した効果的な野生動植物の保全が進められるよう、各分野へ働きかけるとともに、県民の皆さんの保全への理解が得られるようにレッドデータブックを活用していきます。



動物編と植物・キノコ編



移入種駆除



見開いた様子



調査



問伐・下草刈り



レッドデータブック報告会に多くの方々が関心を寄せてくれています。